

道義国家日本を再建する言論誌

『維新と興亜』

崎門学研究会・大アジア研究会合同編集 令和3年6月号

道義国家日本を再建する言論誌

維新と興亜

第7号

グローバルリストに支配される日本の食と農
属国農業から脱却せよ！

三橋貴明
室伏謙一
小野耕資
三浦夏南

日本回帰・第五の波に備えて
日本浪漫派座談会 中

アジア主義の封印を解く下

現代に甦る石原莞爾

尊皇愛国の経営

水戸学の思想的エネルギー

情報開きとして自立し 米國に魂を売った外務省

ヴルピッタ

金子宗徳

山本直人

荒岩宏奨

スヒルマン

小山俊樹

金子宗徳

川瀬善業

山崎行太郎

福山 隆



『維新と興亜』 定期購読・入会のご案内

ご挨拶

『維新と興亜』

編集長 坪内隆彦

既存の保守言論に強い違和感を抱く同志が結集し、令和元年12月に『維新と興亜』は誕生しました。

成長戦略、産業競争力強化といった美名のもとに、国家を破壊する新自由主義的政策、グローバリズム路線を称賛する保守言論。

近隣諸国を口汚く罵るにもかかわらず、日本の主権回復を阻んでいる日米の従属関係には沈黙する保守言論。

GHQによって形成された「戦後的言論空間」に順応し、我が国本来の姿と国史を忘却した保守言論。

私たちはこうした偽物の保守言論と一線を画し、①反グローバリズム、②真の主権回復、③我が国本来の姿の回復——を基軸として本物の保守言論を展開します。

私たちは明治維新や昭和維新の原動力となった國體思想、興亜思想の理解を根底に据えて、戦後的言論空間自体の打破を目指します。興亜とは単純なアジアの軍事経済的同盟関係を意味するものではなく、人種平等に基づいた西洋近代文明の超克を目指す思想です。

「維新は興亜に繋がり、興亜は興世界に繋がる」。私たちはこれこそが八紘為宇の精神だと信じています。

もともと『維新と興亜』は、平成22年に発足した崎門学研究会（代表：折本龍則）の機関紙『崎門学報』と平成28年に発足した大アジア研究会（代表：小野耕資）の機関紙『大亜細亜』を統合する形で生まれました。その過程で、『靖献遺言』輪読会などの勉強会をはじめ、講座・講演会・セミナー、研修旅行・先人顕彰などの活動を展開し、同人それぞれの自己維新に努めて参りました。

私たちは、『維新と興亜』の発行とともに、充実した講座・講演会・セミナーなどを企画し、ご案内させていただきます。是非、私たちの活動をご理解いただき、ご入会いただければ幸いです。

『維新と興亜』 発行

隔月発行（偶数月 28 日） 定価：720 円（税込み）
編集：崎門学研究会・大アジア研究会

講座・セミナー・講演会（オンライン参加可）

「渋沢栄一と水戸学」

（講師：坪内隆彦、月 1 回）

「権藤成卿『君民共治論』を読む」

（講師：小野耕資、月 1 回）

「頼山陽『日本外史』講読会」

（講師：木村岳雄先生、毎週木曜日
午後 8 時から）

これまでに『靖献遺言』輪読会、『保健大記』
輪読会などを開催。



権藤成卿生誕 150 年祭齋行、浦辺登先生による記念講演「権藤成卿と玄洋社・黒龍会」（平成 30 年 4 月 14 日）

研修旅行・先覚者顕彰活動



金玉均先生墓前祭
（青山霊園、令和 3 年 4 月 14 日）



村上一郎墓参（小平霊園、令和 3 年 3 月 27 日）

『維新と興亜』では、山崎闇齋を祖とする崎門学派や真木和泉、吉田松陰をはじめとする幕末の志士、荒尾精、頭山満等の興亜の先覚者の魂を訪ねて研修旅行を行っています。また、先覚者顕彰のための墓前祭などを齋行しています。

書籍出版（望楠書房）

大楠公（楠木正成）が残した言葉に感銘を受けた崎門学者・若林強齋は、書齋を「望楠」と名付け、大楠公に連なる覚悟を固めました。その思いを継ぎ、私たちは新時代の出版社「望楠書房」を設立しました。



小野耕資著『大和魂の精神史』
定価・1760 円（税込み）
四六版並製 224 ページ



土生良樹著『日本人よありがとう』
定価・1320 円（税込み）
新書版 368 ページ



折本龍則著『崎門学と『保健大記』』
定価・2464 円（税込み）
四六版並製 424 ページ



坪内隆彦著『徳川幕府が恐れた尾張藩』
定価・1980 円（税込み）
A5 版並製 180 ページ

『維新と興亜』 定期購読のご案内

■年間購読料 5000 円 (送料込み)

『維新と興亜』 クラブのご案内

■正会員様 15,000 円 (年間)

『維新と興亜』のご購読

講座・講演会・セミナー招待

■賛助会員様 30,000 円 (年間)

下記の事務局までご連絡ください。

私たちは『維新と興亜』をお薦めします。



西村真悟 (元衆議院議員)

『維新と興亜』の購読をお願いしたい。同誌は、小冊子といえども、日本人の魂の復活とお國の再興の為に誕生した。編集するは、維新の志士の如き若き編集者某某。西洋教養主義的論説ではなく、日本民族の血に根ざした実践的日本再興論そして世界の八紘為宇を目指す。



稲村公望 (元日本郵便副会長)

外来の易姓革命思想で構成された独裁拡張国家と対峙しながら、興亜ばかりか、ひいては世界に貢献する役割が日本に求められている。大動乱の予兆のなかで、民族の精髓を探求する時宜を得た出版物として『維新と興亜』は創刊された。同誌の購読を強く薦めたい。

■編集体制

編集長 坪内隆彦
副編集長 小野耕資
編集委員
金子宗徳 山本直人
客員編集委員
稲村公望 西村真悟
杉本延博 浦辺 登
顧問
内 弘志 玉川博己
原 嘉陽 藤本隆之
山崎行太郎

■支 部

宮城支部長 小野寺崇良
東京支部長 稲村公望
神奈川支部長 道下秀樹
埼玉支部長 山崎行太郎
大阪支部長 西村真悟
奈良支部長 杉本延博
高知支部長 仲原和孝
愛媛支部長 三浦夏南
福岡支部長 浦辺 登

■主要執筆者

小山俊樹
クリストファー・スピルマン
田母神俊雄
頭山興助
三橋貴明
山崎行太郎
ロマノ・ヴルピッタ

『維新と興亜』 クラブ事務局

〒 279-0001 千葉県浦安市当代島 1- 3-29 アイエムビル 5 F
T E L 047-352-1007 F A X 047-355-3770
<https://ishintokoua.com> mail@ishintokoua.com

